

2013 年度 IFA 日本支部総会議事録

日 時 2013 年 7 月 22 日 (月) 12 : 00 ~ 14 : 00

場 所 日本工業倶楽部 3 階 中ホール

出席者 34 名 (資料 4 参照)

1、藤井保憲事務局長の開会宣言の後、本庄 資会長から挨拶があり、特に IFA 日本支部の円滑な事務運営に協力いただいているとして日本租税研究協会に謝意が示された。

2、経理担当 宮崎裕子理事から、資料 2 に基づき、2012 年度の会計報告が行われ、次いで志賀 櫻監事から、上記会計報告に関して適正な会計処理が行われている旨の報告があった。これを受けて、2012 年度会計処理が承認された。

3、資料 3 に基づき、事業報告・意見交換等が以下のとおり行われた (議事進行 藤井事務局長)。

① IFA 日本支部の会員状況について報告がなされた。2013 年 7 月時点の会員数は個人会員数 216 名、Youngster 会員 6 名、法人会員 17 社の計 239 名となっている

②この 1 年間の IFA 日本支部の活動状況について報告がなされた。昨年の特記事項としては、12 月に臨時総会を開催し、理事・監事・運営委員等を決定したことが挙げられる。なお、これに関連して、総会開催時期を現在の 7 月からもう少し早くしてはどうかとの意見が運営委員会の中にあることが披露された。

③行事については、会員サービス向上のため充実させたいとして、会員に意見や企画があればどんどん事務局あて申し入れて欲しいとの要請が行われた。

④2015 年 Basel 大会ブランチ・レポーターが次のとおり決定したことが報告された。

・Subject 1 : The use of tax measures in the area of research and development (R&D)

古賀敬作会員

・Subject 2 : Taxation and fundamental rights taxpayers' procedural rights in a globalised world

大野雅人会員、仲谷栄一郎会員

⑤ブランチ・レポーターについては、2015 年 Basel 大会以後、ホームページを通じて自薦・他薦を求めているが、上記古賀敬作会員は自薦第 1 号である。次は、2016 年 Madrid 大会についての情報を適時 IFA 日本支部ホームページに掲載し、引き続きブランチ・レポーターの自薦・他薦を求めていくとの説明があった。

⑥今後の予定として、8月25日～30日コペンハーゲンで開催される第67回（IFA創設75周年大会）IFA総会については、主要2テーマについて岡本高太郎会員と居波邦泰会員がランチレポートを提出しカイエにも登載済みであるが、さらに吉村政穂会員、井上康一会員等がパネリストとして参加する予定であるとの報告があった。また、このIFA総会の **Executive Committee** で、宮崎裕子会員が正式にメンバーとして承認される見通しであることも報告された。

4、以上に続き、来年の2014年ムンバイ大会ランチ・レポーターである2名の会員から、それぞれの研究成果の中間報告として準備状況が報告され、これに対する質疑応答が行われた。両レポーターとも、今回の質疑応答の内容も踏まえ、秋の期限までに本部あてレポートを提出する予定である。

- ・ Subject1 Cross-border outsourcing—issues, strategies and solutions
資料 5-1 参照 (岩品信明会員)
- ・ Subject2 Qualification of taxable entities and treaty protection
資料 5-2 参照 (関口博久会員)

5、閉会宣言は、事務局長 藤井保憲が行った。